

グローバル市場で戦うために 有効的な特許活用を提案



第35回未来の科学の夢絵画展 文部科学大臣賞

病気を治すケーキ

実色彩は下記でご覧になれます。
http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/kaiga/kaiga_yoko.html

岐阜県 多治見市立滝呂小学校 3年 ^{またけ}真武 ^{なお}奈央さん

わたしの未来の絵は、病気を治すケーキです。
 病気やしょうがいのある人がケーキを一口食べたら
 病気がすこしずつ治っていくケーキです。

知的財産権関連業務
のプロ集団

知的情報
サービス業協会

<http://chijokyo.org/>

第35回未来の科学の夢絵画展

次代を担う子供たちが未来の科学の夢を自由な発想で絵に表現することで、科学的な探求心と想像力の伸長を図ることを目的に開催する。

主催 公益社団法人 発明協会

会期 21日(日)まで開催、9時 17時(金曜日のみ20時まで)
 入館は各閉館時間の30分前まで

会場 国立科学博物館(地球館2階 常設展示室)
 一東京都台東区上野公園7の20

問い合わせ 公益社団法人 発明協会 青少年創造性グループ
 (☎03・3502・5434)

4月18日は「発明の日」

世界共通の知財制度を目指して

企業などが生み出す特許技術や研究開発投資といった、知的財産を巡る表舞台が「西から東」へと移りつつある。中国や東南アジア諸国連合(ASEAN)、インドといった新興国などのアジア地域各国が経済で地力を付け、企業の富をけん引してきた先進国に変わる成長市場として台頭。世界の企業はこの変化に反応し、経営資源の成長市場シフトを加速している。その結果、知的財産戦略の世界地図が大きく塗り変わりを「新たなプロパテント」(特許重視)時代が到来している。

一昔前であれば中国や新興国は、世界経済をリードしてきた先進国の企業にとって、製品を安価に生産できる「世界の工場」との性格が強かった。しかし、現在では企業や国家がそうした認識では、経営判断や政策を大きく見誤る危険がある。

企業が世界で勝ち残るには先進国か新興国に関わらず、自国や進出国で知財権を取得して市場で有利な立場を確保し、その上で知財で稼ぐというビジネスモデルが不可欠。特許出願ビッグ5の5大特許庁(IPS)である日本、米国、欧州、韓国、中国はその認識が一致しているだけに、企業の国境なき競争を支えるため自国の制度を越えて協力し、知財の制度や環境を調和させることが必要だ。

IPSで世界の特許出願件数シェア8割を超える。この枠組みで知財の制度や環境の調和を図ることは、各国の知財制度を実質共通化するに等しい効果を生む。経済界の悲願である「世界で一つの知財制度」が実務面で可能になる。

現在、IPSでは企業の特許権などを出願する場合に、類似技術が存在しないか調査するために不可欠な「特許分類」の共通化、審査出願の実質的な世界標準システムを目指す「グロバル・ドシエ」の開発が大きなテーマ。今後数年で大きく前進するよう、特許庁は粘り強く「知財外交」を進めている。

先進国中心だった知財地図は、確実に塗り変わるものとしている。中国は2011年に特許出願件数で米国を抜き首位に躍進。12年にはそれを盤石にした。2位に転落した米国は12年に特許法を改正。発明した当事者の権利を最優先する先発明主義から、特許を権利化するための出願手続きを重く見る世界標準の先願主義にかしを切った。中国も知財制度の改正を活発化。日本も今国会に知財3法改正案提出を目指す。

各国が制度の手直しや調和を急ぐのは、知財制度の充実と審査の質の向上が企業の収益性を高め、国富に直結するからだ。逆に自国の制度に不満があれば、企業は制度環境が整う海外の特許庁から世界に出願することも辞さない。

言い換えれば、最高水準の審査を実現できる特許庁に、世界から技術が集まってくる。新たなプロパテント時代とは企業だけでなく、各国の特許庁にとって、大航海時代の幕開けだと言える。

WEB:<http://www.chizai.jp>

知財∞



知財翻訳研究所は、知財コーポレーションに変わります

事業内容

- 特許翻訳
- 国内／海外出願用図面作成 (特許・意匠)
- 知財ワンストップサービス
- 海外出願事務代行サービス [海外特許出願の新ルート]
- 海外特許調査 [各国の特許調査および翻訳]
- 機械翻訳プラスTM
- 知財アカデミー® (教育・情報提供)
- 知財ヒューマンリソース® (人材派遣・人材紹介)

株式会社知財翻訳研究所 (創立1976年) ISO 9001:2008 認証取得
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 7F
 TEL: (03) 5909-1181 (代) FAX: (03) 5909-1183 E-MAIL: inquiry@chizai.jp

